

■ゴールデンウィーク天体観望会

日 程： 2021年5月3日(月), 4日(火), 5日(水)

時 間： 19:30~20:30 ※悪天候の場合中止になることがあります。

内 容： 四国最大の天体望遠鏡で春の夜空を観察しよう！

対 象： どなたでも(幼児・小中学生は保護者の同伴必須)

参加費： 有料(大人 300 円、高校生 250 円、小中学生 200 円、幼児無料)

定 員： 各日 20 名程度

申込み： 必要 ※お電話(0884-42-1600)またはホームページより。(4月18日9:30~)



■特別観望会『3年ぶりの皆既月食を見よう!』

日 程： 2021年5月26日(水)

時 間： 18:30~22:00

※悪天候の場合中止になることがあります。

対 象： どなたでも(小中学生は保護者同伴必須)

参加費： 有料(お一人 100 円), 幼児無料

定 員： 60 名(先着順)

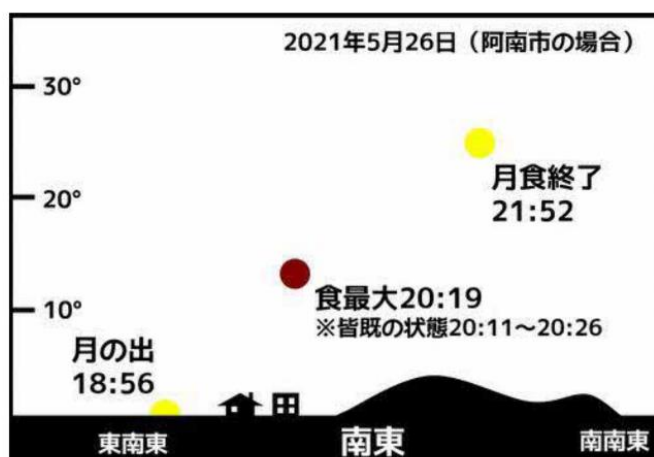
申込み： 要予約(お電話またはホームページから / 5月9日 9:30 よりスタート)

内 容： 約 3 年振りに起こる皆既月食を科学センターで観察してみよう。当日は複数の小型望遠鏡で観察します。(※月の高度が低いため、大型望遠鏡での観察は行えません。)YouTube による生配信も行う予定。

当日・事前の取材大歓迎



2018年1月31日の皆既月食
(撮影: 阿南市科学センター)



(備考: 月食の開始 18:45~ / 月が昇る頃には月食が開始している)

2021年度 科学センター理科学習 開始のお知らせ

1 はじめに

阿南市科学センターでは**市内小学校全 22 校** (3~6年生)を対象とした、**理科学習(授業)**を実施しています。当館での学習は学校の学習単元(学習指導要領)を基礎とし、学校現場では実施・準備しにくい実験装置、プラネタリウム、顕微鏡(一人1台)などを用いて、当館職員と教職員が相互に協力して授業を展開しています。児童の移動に伴うバスの借上げは科学センターで予算化しており、このような取り組みは我々を含め、全国で3か所しかありません(出雲科学館、真岡市科学教育センター)。本事業は1997年に旧那賀川町で開館して以来20年以上取り組み、未来ある子どもたちに向け、**他の自治体には無い魅力ある理科教育**を展開し続けています。

ところで今年度の学習事業は、秋ごろより**市内中学 3 年生**にも拡大される予定です。当館の大型望遠鏡を利用し「金星の満ち欠け」に特化した学習を実施予定(詳細は改めて9月頃にお知らせします)。

2 本年度の実施予定

2021年度は5月11日(火)から開始し、年間を通して小学校は計97日間実施予定です。実施時間は学校によって多少前後しますが、概ね8:45~12:00(計3時間)の実施となります。下記日程以降の予定を知りたい場合は、別途科学センターまでお問い合わせください。

2021年5月	学校名	学年	人数	題材
11日(火) 12日(水)	岩脇小学校	5年生	42名 (2クラス)	雲の様子と天気の変化 種子の発芽と養分 流れる水のはたらき

3 科学センター理科学習の様子(一例)



4年生 空気のあたたまり方



5年生 流れる水のはたらき

理科学習に関する取材・お問い合わせは原則科学センター(今村・堀)まで。
(市教育委員会・各学校への連絡はご遠慮ください)